

# 秀明大学飛翔祭 講演会&ワークショップ

秀明大学看護学部 老年看護学分野

日時：11月17日(土) 13:00~16:00

場所：秀明大学 看護学部棟一階 大講義室 **参加費無料**

## 第一部 講演 13:00~15:00

支える側が支えられるとき～認知症の母が教えてくれたこと～

講師：藤川幸之助先生

### 【講演概要】

認知症の母を介護する過程で、母を支えてきたと思ってきた私が、実は母に人間性を引き出され、育てられ、母に精神的に支えられていたんだと思うのです。ベッドに横たわり、ただそこに居るだけの母が私を育ててくれた。人はそこに存在するだけで大きな意味を持っていると感ずるのです。そういう思いを、詩を朗読しながら講演の中で話をさせていただきます。



講師写真:京都新聞社提供

### 〈プロフィール〉

詩人・児童文学作家。日本児童文学者協会会員。  
1962年生。長崎大学教育学部大学院修士課程修了。  
小学校の教師を経て、現在は認知症の母親の介護の経験をもとに、命や認知症を題材にした作品を作り続けている。また、全国各地で、認知症への理解を深めるため講演活動を行っている。【著作】に『徘徊と笑うなかれ』（中央法規出版）、『手をつないで見上げた空は』（ポプラ社）、絵本『大好きだよ キョちゃん。』（クリエイツかもがわ）、『マザー』（ポプラ社）、谷川俊太郎との共著『満月の夜、母を施設に置いて』（中央法規出版）など多数。

とひら  
扉

藤川幸之助

認知症の母を

老人ホームに入れた。

認知症の老人たちの中で

静かに座って私を見つめる母が

涙の向こう側にぼんやり見えた。

私が帰ろうとすると

何も分かるはずもない母が

私の手をぎゅゅとつかんだ。

そしてどこまでもどこまでも

私の後をついてきた。

\*

私がホームから帰ってしまうと

私が出ていった重い扉の前に

母はびったりとくっついて

ずっとその扉を見つめているんだと聞いた。

それでも

母を老人ホームに入れたまま

私は帰る。

母にとっては重い重い扉を

私はひょいと開けて

また今日も帰る。

『満月の夜、母を施設に置いて』（中央法規）

## 第二部 ワークショップ 15:00~16:00

パネリストに地域で元気に活動する高齢者の方々をお迎えいたします。

☆申し込み不要です。詳細につきましては下記までお尋ねください。

秀明大学看護学部 老年看護学分野 (担当 石川)

E-mail: ishikawa@mailg.shumei-u.ac.jp